

パラグアイ海外邦人安全対策情報(令和6年4月～6月)

1 ポイント

●アスンシオン市やその近郊のセントラル県などの都市部において、店舗などへの強盗や路上強盗が引き続き多発しています。犯行は場所や時間にかかわらずおこなわれており、重武装した集団で犯行に及ぶなど手口の凶悪化が目立っています。また、犯行グループが警察官や麻薬対策庁といった制服のようなものを着用して、犯行に及ぶ事件も散見されています。

●カニンデジュ県のブラジルとの国境に近い地域やアマンバイ県ペドロ・フアン・カバジェロ市などでは、麻薬組織の関与が疑われる銃撃事件が発生しています。

2 犯罪傾向と安全対策の詳細情報

以下のページ(安全の手引き)も併せてご確認ください。

https://www.py.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzentebiki.html

3 主な事件

・4月2日イタプア県ジャティタウ市において、警察署敷地内に設置された ATM に 15 人程の重武装した集団が押し掛け、警備に当たっていた警察官らを拘束した上で、ATM に保管されていた現金約3億3,800万ガラニ(約44,800米ドル)を強奪して逃走した。

・4月8日カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市において、男性が車に乗り込もうとしたところ、バイクに乗った2人組の男から銃撃を数発受けて重傷を負った。

・4月12日夜間、シウダ・デル・エステ市サン・ミゲル地区のガソリンスタンドにおいて、営業時間外の店舗を警備員が警戒にあたっていたところ、強盗目的でバイクに乗って押しかけた武装犯2人組から発砲を受けた。警備員はショットガンで応戦したのち身の危険を感じて待避しようとしたところ、強盗犯の1名から銃撃されてその後死亡した。

・5月16日9時半頃、アスンシオン市内メルカド4付近のスポーツくじとオンラインゲームを提供する店に、配達員を装った男が訪れ、手に持っていた銃器で従業員を脅すと、店にあった現金と従業員らの携帯電話3台を奪って逃走した。

・5月30日22時29分、アスンシオン市内メルカド4付近を走行中の路線バスの車内において、男子学生が隣の席に座ってきた男にナイフで脅されて荷物のリュックサックを奪われた。犯人はその後バスを降りて逃走した。

・6月2日17時30分頃、イタプア県ピラポ市の邦人宅に何者かが侵入し、邦人2名を鈍器のようなもので殴打して殺害した。

・6月8日22時30分頃、アマンバイ県ペドロ・フアン・カバジェロ市オブレロ地区において、バイクに乗った男が民家に向けて銃器を発砲し、民家の扉が損傷した。

・6月14日朝、アスンシオン市のサン・マルティン通り沿いにあるカジノ店にて、国家警察を模した防弾チョッキを着用し拳銃と散弾銃で武装した4人組の武装犯が店内に押し入り、店にあった現金を強奪して逃走した。

・6月18日午後、アスンシオン市ビジャ・モラ地区にある両替店に麻薬対策庁を模した制服を着用した5人組の強盗犯が押し入り、店に保管してあった多額の現金を強奪した。偶然付近に居合わせた警察官と銃撃戦となるも、強盗犯は逃走した。